

# 外国特許トピックス

2017年4月  
特許業務法人志賀国際特許事務所  
(外国事務部 加藤基志)

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
外国特許出願に関し、最近のトピックス等をお知らせいたします。

## PCT — 2016年のPCT出願件数統計

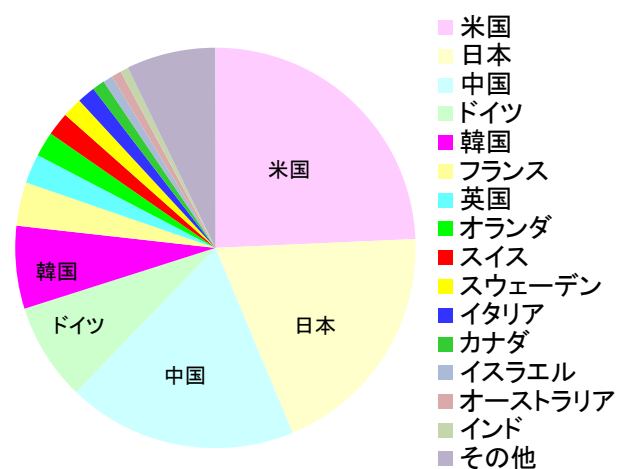
2016年におけるPCT出願件数の暫定統計がWIPOより公表されましたので、今回はこの公表された情報に基づき、PCT出願件数の概況について紹介いたします。

### 1. 総出願件数

2016年のPCT出願の総出願件数は、暫定で233,000件と発表されました。これは前年(確定数値217,235件)との比較で、件数にして15,765件、率にして約7.3%の増加となりました。

### 2. 上位出願国(出願人居住国/15ヶ国)

順位	国名	2016年	前年比(%)	全体占有率
1	米国	56,595	-1.38%	24.29%
2	日本	45,239	+2.27%	19.42%
3	中国	43,168	+44.64%	18.53%
4	ドイツ	18,315	+1.34%	7.86%
5	韓国	15,560	+6.39%	6.68%
6	フランス	8,208	-3.16%	3.52%
7	英国	5,496	+3.44%	2.36%
8	オランダ	4,679	+7.39%	2.01%
9	スイス	4,365	+1.99%	1.87%
10	スウェーデン	3,720	-3.58%	1.60%
11	イタリア	3,358	+8.92%	1.44%
12	カナダ	2,333	-18.08%	1.00%
13	イスラエル	1,838	+8.24%	0.79%
14	オーストラリア	1,835	+4.74%	0.79%
15	インド	1,529	+8.29%	0.66%
—	その他	16,762	+1.10%	7.19%
	合計	233,000	+7.26%	100.00%



2016年の出願上位15ヶ国は上記のとおりです。全体的には、アジア諸国の占有率が全体の半分に迫る勢いで、米国と欧州諸国との合計にわずかに届かないほどとなりました。前年との比較では、2013年以降毎年10%前後減少していたフィンランドが今回はついにランク外となり、代わりに緩やかに増加をしつつこのたび10%近い増加を見せたインドがランクインしましたが、それ以外はカナダの20%近い減少(順位は前年と変わらず)のほかは、大きな変動はありませんでした。

上位の中でも4位以下と差をつけているトップ3を見ると、米国は前年比で若干減少も39年連続で1位を維持し、日本も前年比で微増ながらもここ数年2位を守り、両国ともに安定した様子です。これに対し、3位の中国は、2012年にドイツから3位の座を奪って以来、増加率10数%台の伸びを続け、2016年では前年より13,329件も増加し、全体の増加件数の大半(約85%)が中国の増加分であるくらい合計数増加に大きく貢献しました。下記出願人別ランキングでも中国企業が1位と2位を占め、今後もPCT出願の全体件数増加の鍵を握る存在になると思われます。

### 3. 上位出願人

順位	出願人名	国名	2016年	前年比(件)
1	ZTE Corporation	中国	4,123	+1,968
2	Huawei Technologies Co. Ltd	中国	3,692	-206
3	Qualcomm Incorporated	米国	2,466	+24
4	三菱電機株式会社	日本	2,053	+460
5	LG Electronics Inc.	韓国	1,888	+431
6	Hewlett-Packard Development Company, L.P.	米国	1,742	+432
7	Intel Corporation	米国	1,692	+442
8	BOE Technology Group Co., Ltd	中国	1,673	+446
9	Samsung Electronics Co., Ltd	韓国	1,672	-11
10	ソニー株式会社	日本	1,665	+284

2016年国際公開件数に基づく出願人別出願件数は、分野別でデジタル、コンピュータ技術が最も多く出願されていることがそのまま反映され、その分野の企業が上位を占めています。ZTEは前年の2,155件から2倍近く増加し、Huaweiを抜いて1位となりました。

### 4. 節目の300万件

2017年2月2日付けで国際公開されたWO/2017/017579が節目の300万件目のPCT出願となりました。PCT出願運用開始の1978年から累計100万件に達するまで26年、その7年後(運用開始から33年)には200万件に達し、更にその6年後に300万件を超えました。世界的金融危機の影響を受けた2009年を除き、PCT出願は毎年増え続けており、今後もアジア勢を中心に増加していくものと思われます。

以上